



晩天キャラバン(部分)/平成20年(2008)

田原市博物館 新春企画展

田原の美術

# 道家珍彦展

UZUHIKO DOUKE

— シルクロードと渥美 —

平成22年 1月5日(火) - 2月14日(日)

休館日・1月12日(火)/1月18日(月)/1月25日(日)/2月1日(日)/2月8日(日)

開館時間・午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料・400円(320円)/小中学生[入場無料]

( )内は20名以上の団体割引料金

道家珍彦は、昭和9(1934)年名古屋市に生まれ、昭和28年旭丘高等学校美術科を卒業、その後、愛知学芸大学で日本画を学び、卒業後は、尾張地方の小・中学校で美術の教師をしながら作画活動に取り組まれました。昭和40年、白土会展に「土」シリーズを出品、白土会賞を受賞し、翌年会員(現在は白土会委員)となりました。我妻碧宇に師事し、白土会展を中心に作家活動を続けるほか、名古屋・東京・豊橋などで個展を開催しています。

昭和47年、シルクロード踏査旅行を契機に「シルクロードをゆく」をシリーズ化、以後本年までに14回ものシリーズ展が行われています。昭和55年、渥美半島の自然風景に魅かれ、名古屋から渥美町堀切(現田原市堀切町)に移住され、教師を続けながら渥美の風景を画材とした作品の制作にも取り組まれるようになります。平成4年、東京紀伊國屋画廊で個展「渥美をかく」が開催されると、これをシリーズ化し、現在までに5回のシリーズ展が開催されています。そして、平成5年、第二の故郷となった渥美町の郷土資料館で企画展「道家珍彦個展」、平成10年にも同館にて「渥美をかく自選展」が開催され、渥美を拠点に活躍する画家となりました。

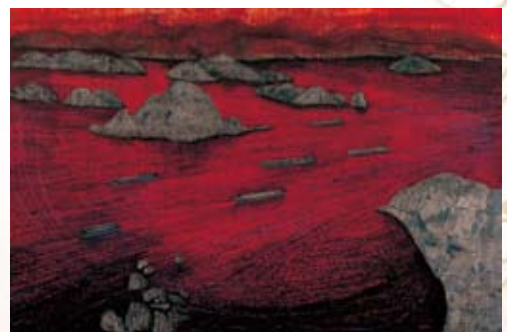
今回の企画展では、そんな先生の代名詞ともいえる「シルクロード」と「渥美」をテーマとした作品の数々を展示紹介し、その作品世界を堪能していただくよう開催します。



ベルシャの陽/平成10年(1998)



白居寺(バンコル・チヨヨデ)/平成18年(2006)



伊良湖水道 夕照/平成6年(1994)  
渥美郷土資料館蔵

ギャラリートーク

1月16日(日)/2月6日(日) 午前11時 - (講師) 白土会委員 道家珍彦氏

同時開催

## 渡辺華山と師の山水画

特別展示室にて、谷文晁筆 李白観瀑図  
渡辺華山筆 米法山水図などを展示します。

田原市博物館

☎22局1720

http://www.taharamuseum.gr.jp



伊良湖渡合/平成15年(2003)